

# インド地震救援プロジェクト

5 3つの建物、築1年、3年、20年は全て全壊、再建が必要である

1月26日に発生したインド西部地震は、死者約2万人、負傷者16万人以上に及んでいるほか、家庭出稼数は100万戸以上に達するなど未曾有の規模の災害となりました。

LWSIndia (Lutheran World Service India,本部事務所、カルカッタ) は、地震発生の日5日後の1月31日に、震源から約100kmの都市ガンディーダム(Gandhidham)に1名、6日後の2月21日に震源から約150kmの都市モルビ(Morbh)に1名を派遣し、それぞれにベースキャンプを設置し、緊急支援活動を開始しました。被害も大きく、幹線道路から遠く離れ、政府や他のNGOの支援が届きづらい45箇所の村(ガンディーダムエリア23ヶ所、モルビエリア22ヶ所、2月16日現在)にテント、毛布、ベッドシート、プラスチックシート、ランプなどの配給を行い、それと平行して特に被害の大きい9ヶ所の村(ガンディーダムエリア5ヶ所、モルビエリア4所)には、1家族に1つの仮設住宅の建設を計画し、建設を行っています。地震の被害の大半、全部の学校は全壊もしくは全壊に近い半壊です。安全な場所にてントを張り、教室を再開しはじめています。2月中はテントや毛布の配給など生命に関する援助が全てでしたが、3月に入ってから徐々に

にはありますが、教育面や精神面での復興援助が必要になってきています。この震災により、家をなくし、他の村に移動した人々が多い。また、生活もより苦しくなり、学校へ通うことが難しくなるなかで、教育を支援することは、大変に重要な支援です。



藤田さん  
藤田さん  
藤田さん  
現住住宅の  
モルビさん

「わかちあいプロジェクト」は、3月1日から1ヶ月間、建設技術者の石川博之さん、土木技術者の藤田大さんと鈴木昇さんの3名を現地に派遣し、支援活動に参加すると共に、学校再建のための調査を行いました。2ヶ所の村と、それらの学校の被害状況、その他のデータを調査し、特に被害が大きく、その上今後の再建の目処が立っていない、援助が必要であると思われる3ヶ所の村にこの規模の地震にも耐えられる小学校を3校建設することを計画しています。

## 学校再建計画

### 再建予定の村の被害状況

○ムナナ村 (Muna)

人口: 150, 000人 地震被害率 100%  
家族: 3750世帯 カースト 上位 60%  
地震による死者: 35人 下位 40%  
職業: 農業  
小学生: 180人 公立学校 1-7年男女共学  
校長名: M.Kishan/Pis  
教師数: 2名 0.022人/人  
年毎の新生児: 40人  
カースト: 3つの階級 築1年、3年、20年は全て全壊、再建が必要である  
現仮設住宅: 地震が壊れたテントを再利用



地震で壊れた住宅跡 子供たちは明るい

○ムナナ村 (Muna)

人口: 20, 000人 地震被害率 100%  
家族: 4500世帯 カースト 上位 70%  
地震による死者: 9人 下位 30%  
職業: 農業  
小学生: 337人 公立学校 1-7年男女共学  
校長名: M.Kishan/Pis  
教師数: 5名  
年毎の新生児: 60人  
元の教会: 2つの牧場を併し、1期校舎、再建が必要である



完全に崩壊した学校跡

○ビバ村 (Biba)

人口: 1, 650人 地震被害率 100%  
家族: 330世帯 カースト 上位 90%  
地震による死者: 13人 下位 10%  
職業: 農業  
小学生: 160人 公立学校 1-7年男女共学  
校長名: M.Majumdar/Nishri  
教師数: 6名  
元の教会: 2つの牧場を併し、1期校舎、再建が必要である



仮設住宅の柱 柱間に置く

### 現在の学校の状況

インドの村にある小学校は、全部といったらほとんど公立学校で、1年から7年生までである。大きい村やイスラムの村では、男子校と女子校に別れ、小さい村では男女共学になる傾向がある。新生児は多いのだが、5学年、6学年になるにつれて、特に女子は学校を辞め、家事に従事することがほとんどである。

学校によっては先生はいるが、生徒がいなかったり、また、先生が不足して、2人の教師が1学年を年に教えることもある。教室の前後に2つの黒板があり、後ろ向きになって2学年が学び、ある教室では机はあまりなく、床の上で学習する。教室の前と校庭の間に通路があり、そこでも供進の授業が行われている。村には、上カーストと下カーストがあり、それらの家族は互いに50メートルほど離れたところで生活している。学校は上カーストの村にあり、下カーストの子供達は、毎日、上カーストの村の学校に行き、教室内では上カーストの生徒が前列に並び、下カーストの生徒が後列にということになる。

最近では学校でキッチンを設け、生徒が食事にくるという目的で、中途退学を防止を試みもされている。学費は無料、ペンノートは個人で購入する。制服の学校もあるが、買えない家庭が多い。どのインドの村でもいえることだが、教育よりも仕事という考えが多い。村での女性の平均結婚年齢は15才というのも、それを物語っている。

# わかちあいプロジェクト募金にご協力ください

## 新しいプロジェクト準備中!

Lintang coffeeとして世界的にも有名な北スマトラ、ト湖湖南西の高地Lintang Nilutaのバタック教会(HKBP,Huria Kristen Batak Protestant,会員290万人、アジア最大のルーテル教会、19世紀ドイツの宣教師によりキリスト教が伝えられる)のメンバー20名でつくられているRunata Coffee Farmers Groupから1トンのコーヒーを輸入しました。

このキックオフは聖パウロ教会の会員である宇野野さんと松本牧師(わかちあいプロジェクト代表)が5月に訪問したことに由来します。宇野さんは妻のデララさんがHKBPの牧師であることで、昨年インドネシアで結婚され、現在、教会本部でデザイナーとして雑誌の製作に協力されています。デララさんは、教会本部の農村開発部門でトレーニングの担当者として活躍していますが、リントン地区も仕事の領域です。

不思議に思ったのは、農民の人が仲買人に売って着る値段のことでした。1kg(5キログラム)が90,000Rp、1kgが約210円です。世界のマーケットは暴落状態です。1kg、120円ほどです。リントンの場合、豆の差別もしないままです。何故だ! 1箱前後、持ち帰った豆を焙煎し飲んでみました。はじめてリントンコーヒーの香り、コクがわかり、「これは美味しい!」が第一印象。さっそくインターネットでLintangと入力してみたびっくりしました。アメリカではLintang blueとして販売されている特別の豆でした。宇野野さんと、わかちあいプロジェクトのスタッフとして6月から参加していただき、新しいプロジェクトを準備中です。皆様が寄付してくださる古着や、それにコーヒー、デザインが活動の柱です。

## 2002年の募金目的と目標額

- 難民支援 1000万円  
青年育成プログラム ワークキャンプ読書用・古着などのコナテナ費用
- 自立支援 500万円  
カンボジア学校建設  
タイプロジェクト  
インドネシアプロジェクト
- その他

募金目標額 1500万円

## 募金の送金先

郵便振替口座

わかちあいプロジェクト募金

00130-7-762258



宇野野さん  
インドネシア名  
Aogu Uno

プロジェクト  
東京山田谷出身。東京農業大学中退後、デザインを学ぶ  
デザイン事務所で10年以上働き  
アジア学校で6年間勤務  
昨年、インドネシアで結婚

## お知らせ

### ●わかちあいプロジェクト例会

8月を除く毎月第3火曜日、午後7時より例会を開いています。歡迎いたします。どうぞご出席ください。

### ●カンボジア学校建設ワークキャンプ参加者募集中

村人が主となり、村人の労働力により行われる学校建設に参加します。  
●期間: 2002年2月18日(月)~3月2日(土)  
●募集人数: 18名前後  
●参加費: 9万円(渡航費、現地滞在費、海外傷害保険料、アンコールワット観光費用含む)  
●参加者年齢: 18歳~30歳  
●活動内容: カンボジア・コンボンスプ州での学校建設ワークキャンプ

### ●第10回2002年度 古着支援イベント

2002年以下の要項に従って古着を集めます。協力力のほうよろしくお願いたします。送先受け付け時間を間違えないようお願いいたします。衣料品以外のものも対象外ですので御了解ください。  
●支 援: タンザニア、キンドロ民権キャンプ、インドネシアなど  
●古着の種類: 子供と大人の衣服(夏冬ものすべて)ズボン、ティーズ、スウェット、ワイ

### ●お知らせ

を難民の人たちとお互う難民キャンプ活動の研修  
●条 件: 18才以上35才までの健康な青年  
英語が話せること/将来、国際協力活動を仕事としたいと希望する者/難民支援のための募金活動を行う用意があること  
●締 切: 2002年1月9日

### ●募金の領収: ダンボール箱、4000個以上(40フィートコナテナ台)

送り先: 大田区浜浜川1-2-2  
ヤマト運輸(内)電話: 03-3709-1921  
現地の持ち込みに  
わかちあいの友へ、ヤマトを使う必要なし  
●受付期間: 2002年6月3日(月)~  
6月15日(土)(この期間に到着するようになりください)  
●ダンボール箱の大きさ: 引越し用段ボール箱大のおきまで(縦・横・高さの合計が1.5mまで)  
●送料募金のお願い  
ダンボール箱あたり、1,500円  
(荷物と一緒に送料を返されますが、そのままだんばりまで送らせていただきます。ご前払いです郵便振替でご送ってください)